

パレット保育園・たまプラーザ

2018年度自己評価表

評価日：2018年2月28日

2018.09.01第一版

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育方針の共通理解と保育課程等の作成	1	保育の理念や基本方針が子どもを尊重したのになっており、全職員が理解し、実践しているか	A	園内に保育理念・保育方針・スタッフの使命を掲示している。年度初めの職員会議や研修時に読み合わせや確認をし、周知徹底している。
	2	保育課程は基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一にして作成されているか	A	前年度の見直しをし、職員会議で読み合わせをし、作成している。
	3	日常の保育を通して子どもの意見や意思をくみ取る努力をし、指導計画に反映させているか	A	子どもの成長を考慮し、計画を柔軟に見直している。言葉で表現できない子どもの場合などは、気持ちを代弁しながら意思を確認したり安心感が持てるようにしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・全園研修会に年に一度参加し保育理念や保育方針、方向性の共通理解を図っている。 ・年度初めにしおり、ハンドブックの読み合わせをしている。 ・毎日振り返りを行い保育計画に反映させている。 【課題・対策】 ・より共通理解を深めるために担当クラス以外の保育計画にも全スタッフで見直していき、保育に反映させていけるとよい。			
子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施	4	入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか	A	入園児に個人面談を実施し、担当が把握する。重要事項は全職員で共有する。
	5	新入園児受け入れ時の配慮を十分しているか	A	園児の状況に応じ、1週間程度の慣らし保育をおこなう。保護者との情報共有・交換のために連絡ノートでコミュニケーションを図っている。
	6	子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか	A	クラス担当が中心となり、作成し、年に数回振り返り・反省を元に見直しを行っている。保護者の意向も可能な限り反映している。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・クラス会議、乳児mtg、幼児mtg行い情報交換を行っている。 ・慣らし保育は保護者の方も参加できる仕組みにしている。 ・入園前、入園後の離乳食面談に給食スタッフも参加している。 【課題・対策】 ・年度末の園内会議では新入園児の情報と在園児の引き継ぎを特に重視し情報共有を図っていく。			
快適な施設環境の確保	7	子どもが快適に過ごせるような環境への配慮がなされているか	A	各部屋に温湿度計を設置し、チェックをする。毎日清掃・消毒をおこない、清潔を保つようにしている。
	8	子どもの発達に応じた環境が確保されているか	A	食事や午睡の空間を作っている。異年齢交流、自由保育、コーナー保育などを取り入れている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・危険箇所につぶつき防止クッションやヒヤリハットマークをつけ安全対策をしている。 ・0、1歳児保育室に誤飲チェッカーを配備し誤飲の恐れがある玩具を置かないようにしている。 【課題・対策】 ・定期的に玩具の入れ替えは行っているが、子どもの発達に合わせた玩具をより充実させていく。			
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・毎日の昼礼時と週に一度ミーティング時に一人ひとりの子どもの情報を共有している。 【課題・対策】 ・口頭だけではなく一人ひとりの成長を、成長発達記録の新年度引き継ぎ表に記録し、最終年度に至るまでの育ちに関する事項の記録を残していく。			
一人一人の子どもに個別に対応する努力	9	子ども一人一人の状況に応じた保育目標を設定し、それに合わせた個別指導計画を作成しているか	A	0～2歳児は一人ひとりの状況に応じた個人別の月案を作成している。
	10	子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか	A	成長発達記録・児童健康台帳等、必要書類に記録をし、全職員で情報共有をしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・毎日の昼礼時と週に一度ミーティング時に一人ひとりの子どもの情報を共有している。 【課題・対策】 ・口頭だけではなく一人ひとりの成長を、成長発達記録の新年度引き継ぎ表に記録し、最終年度に至るまでの育ちに関する事項の記録を残していく。			
保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み	11	特に配慮を要する子どもを受け入れた場合、保育する上で、必要な情報が共有化されているか	A	ミーティング時に情報共有をし、対応を話し合っている。外部の専門機関の研修に参加し、その内容も共有をしている
	12	虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか	A	毎日の受け入れ時に視診・触診を丁寧に行っている。送り迎え時の会話などからも早期発見に努めている。独自の児童虐待マニュアルを配備しており、全職員で研修をしている。
	13	アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができていますか	A	独自のアレルギー対応マニュアルを配備し、全職員で研修をしている。マニュアルに沿って、書類、環境、備品を整え、誰でもわかるよう対応をしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・アレルギー児献立表は全スタッフが確認できるように事務所に掲示している。またミーティングノートにアレルギー児の持参情報を記入している。 ・アレルギー児の椅子にマークをつける、台布巾を別にする等アレルギー対策をしている。 ・給食提供時、口頭で献立(除去)を確認している。 【課題・対策】 ・アレルギーの持参がない献立作成をなども課題としていく。			

パレット保育園・たまプラーザ

2018年度自己評価表

評価日：2018年2月28日

2018.09.01第一版

項目	番号	内容	評価	実施していること
苦情解決体制	14	保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか、また迅速に対応できる仕組みになっているか	A	苦情処理規程にそって、園内に苦情受付体制の掲示をしている。園だけではなく、第三者委員、公的機関にも要望や苦情を伝えられる仕組みになっている。普段の要望は連絡帳や行事のアンケートでも伝えることができる。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・意見箱を設置している。 ・保護者からの要望等は施設長に報告し個別に対応している。 ・行事ごとにアンケートをとり保護者の意見を参考に次年度に活かしている。 ・年に二回運営委員会を開催し保護者の意見を頂いている。		
		【課題・対策】		
保育内容(あそび)	15	子どもが主体的に活動できる環境構成ができていますか	A	年齢や発達に応じたおもちゃをそろえている。自由遊びの時間はコーナー保育を取り入れ遊びこめる環境作りを工夫している。
	16	遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか	A	朝・夕は子どもたちが自由に遊べるように時間を設けている。
	17	動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか	A	おいも掘りをおこなっている。野菜・花の栽培やカブトムシを育てたりしている。
	18	子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか	A	独自の能力開発プログラムの中に、絵描き歌、運動プログラム、文字や数字に興味をもてるテキストを準備している。またそれを毎日の保育に取り入れている。
	19	遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか	A	朝、夕の合同保育の時間だけでなく、異年齢保育をおこなっている。園児同士の関わりだけでなく、職員が仲立ちをしながら会話や関わりを持って保育をしている。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・幼児クラスでは子ども達で、遊びやルールを決め遊べるようにしている。 ・年齢に合わせてリミックを取り入れ リズム感や全身を使って表現することの楽しさを感じられるようにしている。 ・ネイチャーゲームを取り入れ身近な自然物への興味を高め親しみを感じていけるようにしている。		
	【課題・対策】 ・遊び込める環境設定については取り組んでいるが、保育士自身が意識して行動をし子どもが主体的に遊び込める環境を整えていく。			
保育内容(生活)	20	食事を豊かに楽しむ工夫をしているか	A	個々の食事量に配慮しながら、完食の喜びを味わえるような調理方法や配膳方法を工夫している。職員も指導食を食べながら、食材についての話をしたりと楽しい雰囲気の中で食事ができるように声かけをしている。
	21	食事の場、食材、食器等に配慮しているか	A	献立は、季節の移り変わりに合わせ、旬の食材を使用し、行事メニューや物語メニュー郷土料理メニューなどを取り入れている。食器・食具は年齢に合ったものを使用している。
	22	子どもの喫食状況を把握して、献立の作成、調理の工夫に活かしているか。	A	給食スタッフは子どもたちの喫食状況を見て、残食状況もチェック・記録し、献立作成に反映させている。2週間ごとの繰り返しメニューにすることにより、切り方、味付けの工夫を改善している。
	23	午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。	A	乳児は睡眠チェック表を使用し、睡眠時の体調をチェックしている。年長児は秋以降から午睡時間を減らしていくが、個々の状況で対応している。室温や採光の調節をし、心地よい眠りにつけるよう配慮している。
	24	排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。	A	トイレトレーニングでは各家庭と連携を取りながら、無理のないように進めている。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・幼児クラスでは当番活動に給食配膳や献立紹介を取り入れ、食材や名称にも興味関心が持てるようにしている。 ・ミーティングで喫食状況の報告を行い給食スタッフと共有している。 ・季節や年齢にあった食育を行い、食への興味を引き出せるようにしている。		
	【課題・対策】 ・給食スタッフとの情報の共有はできているが、日々の喫食状況など給食巡回を通してより連携強化を目指し、調理に活かしていく。			
健康管理	25	子どもの健康管理は、適切に実施されているか。	A	児童健康台帳に、個々の健診・測定の結果を記録している。既往症・アレルギー等については全職員で情報共有して対応をしている。
	26	感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。	A	独自の感染症マニュアルがあり、保護者にご協力いただく部分は園のしおりに記載をしている。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・感染症が確認された場合は掲示でお知らせをしている。		
	【課題・対策】 ・マニュアルはあるが、園内研修に感染症マニュアル研修を定期的に行い周知徹底に繋げていく。			

パレット保育園・たまプラーザ

2018年度自己評価表

評価日：2018年2月28日

2018.09.01第一版

項目	番号	内容	評価	実施していること
衛生管理	27	衛生管理が適切に行われているか。	A	保育室・トイレ・厨房を毎日清掃し、掃除チェック表を用いて管理している。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・毎日清掃を行い、玩具は消毒日を決めている。また、土曜日に平日できない掃除を行っている。 ・マニュアルや掃除の手順を分かり易く掲示し、周知徹底を図っている。			
	【課題・対策】 ・マニュアルを掲示し周知徹底を図っているが、徹底されていない部分もあるためスタッフの意識高めていく。			
安全管理	28	安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。	A	毎月1回の避難訓練を通し、職員間でも常に迅速に対応できるよう話し合っている。全スタッフが救命救急研修を受講している。緊急メールおよび緊急掲示板で保護者への連絡がスムーズにできるよう配慮している。
	29	事故やけがの発生時及び事後の対応体制が確立しているか。	A	事故報告書を作成し、再発防止を園内で話し合い、実行している。近隣医療機関をまとめた一覧を作成し、迅速に対応できるようにしている。
	30	外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。	A	玄関はオートロックになっており、在園児の保護者のみにカードキーを付与している。来客やカードキーを忘れた場合は名前・顔確認後に施錠解除している。警備会社への通報システムがある。不審者対応訓練を年1回おこなっている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・防犯カメラを設置している。 ・避難先を玄関に掲示している。 ・不審者対応訓練は姉妹園と連携をとり不審者侵入を想定した訓練をしている。また、不審者侵入時には合言葉で全体に周知出来るようにしている。 ・ヒヤリハット、事故報告は毎日昼礼で報告し全体周知を図っている。 ・事故の振り返りシートを活用し再発防止策を話し合っている。・事務所に緊急対応時の動きを掲示しスムーズな対応がとれるようにしている。			
【課題・対策】 ・園内会議で、ヒヤリハットなどの事例を用いてケーススタディ研修を行い事故防止に努めていく。 ・外部からの侵入に対する対応策では、全スタッフが日々危機感をもち安全管理への意識付けをしていく。				
人権の尊重	31	保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。	A	否定語を使わないよう職員間で話し合ったり、研修などで言葉づかいを振り返ったりしている。子どもの名前は呼び捨てにしない。
	32	必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。	A	仕切りを使うことでプライバシーを確保したり、好きな遊びや一人になれるコーナーを設置している。
	33	個人情報の取り扱いや守秘義務について職員に周知しているか。	A	守秘義務については全職員が入社時に説明・研修を受け、誓約書を提出している。保護者にも個人情報の取り扱いについて同意書をいただいている。個人情報は鍵のかかる書庫で管理をしている。
	34	性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。	A	発表会での役決めなどは子どもたちと話し合っ決めていく。父の日、母の日は感謝の日とし、父・母で分けることはしない。
【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・全体会議で言葉かけ研修を取り入れて意識を高めている。 ・呼び捨てや言葉遣いについて合言葉を決め保育士間でお互いに気付け合えるようにしている。				
【課題・対策】 ・意識しているが定期的に園内研修やミーティングで言葉かけ研修を行っていく。また自分自身で日々振り返りを行い意識付けを大切にしていく。				
保護者との交流・連携	35	個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行い、情報共有や相談対応をしているか。	A	送迎時に様子を伝えるだけでなく、年1～2回個人面談をおこなっている。またそれ以外でも相談があった際には個別に対応している。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・パパママ保育を実施し保護者に保護者と交流を図っている。 ・子どもの様子で気になることあれば園側からも声をかけている。			
	【課題・対策】 ・保護者支援に繋がる活動を取り入れていけるよう内容の検討をしていく。			
保育所の専門性を活かした相談機能	36	地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。	A	育児相談日(要予約)を設け、対応している。夏祭り等は園を開放し、地域住民の方も気軽に園を見ることができるようになっている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・地域の子育て支援イベントに参加している。 ・ホームページで園の情報を公開している。 ・園見学の際に質問や相談に応じている。			
	【課題・対策】 ・ホームページをリニューアルし見やすくしていく。			

パレット保育園・たまプラーザ

2018年度自己評価表

評価日：2018年2月28日

2018.09.01第一版

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育所の地域開放	37	子どもと地域との日常的な交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。	A	近隣園と交流をしたり、地域のイベントやお祭りに参加している。お散歩時には地域の方に積極的に挨拶をし、交流するようにしている。
	38	利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。	A	定期的に見学日程を設け、対応している。また都合がつかない方には個々の希望日に対応をしている。ホームページにも詳細を記載し、メールでの問い合わせも可能としている。
	<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土曜日に見学会を開催している。 ・近隣保育園との交流に積極的に参加している。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園行事の夏まつりではお知らせをして、地域の方に参加して頂いている。周知があまりされていないので見学の際などにもお知らせしていく。 			
実習生・ボランティアの受け入れ	39	実習生・ボランティアの受け入れを適切に行っているか。	A	希望があった場合、できる限り受け入れをしている。受け入れ時には施設長が園の方針や注意事項等をしっかりと伝え、参加してもらっている。
	<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生の職業体験の受け入れをしている。 ・実習日誌を元に振り返りや質疑応答の時間を確保し指導している。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習生指導は的確に行うなかで心のケアも丁寧にしていく。 			
	<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生の職業体験の受け入れをしている。 ・実習日誌を元に振り返りや質疑応答の時間を確保し指導している。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習生指導は的確に行うなかで心のケアも丁寧にしていく。 			
職場の人材育成	40	保育園の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。	A	募集媒体・ホームページ・面接時にパレット保育園の理念や方針が伝わるように説明している。また入社後も内部・外部問わず研修に参加している。
	41	職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。	A	法人本部のさまざまな研修や外部研修を利用し、一人一人にあった育成計画にそって受講している。研修を受講した職員は研修報告書を作成し、内部研修にて他の職員と共有している。
	<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・iPadを活用し姉妹園と共有できるシステムの中で手遊びや体操等を取り入れている。 ・新入社員の育成担当を決め育成シート、ウェルカムチェックを活用し育成している。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体会議等で専門リーダー研修の内容を周知し、専門性を保育に活かしていく。 			
職員の議事術の向上	42	保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずからの実践を評価し、改善に努める仕組みがあるか。	A	園内会議だけでなく、クラスや部屋の会議などを利用して、振り返りをおこない、計画作成に反映させている。
	43	保育士等の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価を行っているか。	A	年1回、自己評価シートを使い、会議などで振り返りをおこない、チェックをする。課題を見つけ、改善策などを意見交換している。また第三者評価も受審し、客観的な振り返りもおこなっている。
	<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育の振り返りを毎日行っている。また客観的に捉えたり意見交換が行えるように振り返りは複数名でおこなっている。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体会議等で各自が積極的に発言できるような雰囲気づくりをする。 			
経営管理	44	事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。	A	法人本部にて最新情報を入手し、共有をしている。職員採用時には法人本部にて初期研修をおこない、個人情報の遵守、倫理について学んでいる。
	<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月一回発行される運営要項の読み合わせやGニュースを回覧し最新情報を共有している。 ・全スタッフに配布されているハンドブックに記載されている内容を全体会議等周知している。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最新情報を共有していく中でスタッフが安心して働けるよう分かり易く丁寧に説明していく。 			
	<p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最新情報を共有していく中でスタッフが安心して働けるよう分かり易く丁寧に説明していく。 			